

パレット

医療法人かぶとやま会

久留米リハビリテーション病院

Kurume Rehabilitation Hospital



† 院長コラム

† 久留米リハビリテーション病院からのお知らせ

† 地域医療連携室のご紹介

† 介護保険で利用できるリハビリについて

† 関連施設ヒュッゲやまもと特集

- ・ B 型作業所「シンビー」
- ・ リハビリテーションシェアハウス「グレイヘロン」
- ・ ランスビィン カフェ -Landsbyen Café-



院長コラム

暑い夏を元気に過ごすために
～脱水症・熱中症を予防しましょう～

梅雨も明け、本格的な暑さが続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。近年、日本では年齢を問わず熱中症になる人が増えています。その背景には、

- ①地球温暖化などにより、夏の気温が年々高くなっていること。
- ②エアコンを使用する機会が増え、暑さに身体が慣れにくくなっていること（暑熱順化が十分にできない）などが影響していると考えられています。

特に高齢者は、

- ・喉の渇きを感じにくく、脱水に気付きにくい
 - ・汗をかきにくく、体に熱がこもりやすい
 - ・筋肉量の減少により体内の水分量が少なくなる
- といった理由から、脱水症や熱中症になりやすくなります。毎年、夏になると高齢者の熱中症による救急搬送が増加します。

【脱水症・熱中症予防のポイント】

- ①直射日光を避けましょう（帽子や日傘を利用しましょう）
- ②気温の高い時間帯の庭仕事や畑仕事、屋外での作業はできるだけ避けましょう
- ③喉が渇く前から、こまめに水分補給をしましょう
- ④食欲が落ちると食事から摂る水分も減ってしまいます。味噌汁やスープなどを取り入れ、栄養と水分と一緒に補給しましょう
- ⑤室内でも暑さを我慢せず、エアコンや扇風機を上手に利用しましょう。エアコンが嫌いなひとは特に室内の温度調節に配慮が必要です。

水分補給について

日常生活で軽く喉が渇いた程度であれば、普通の水やお茶で十分です。スポーツドリンクや経口補水液を普段から飲む必要はありません。スポーツドリンクは糖分が多く、経口補水液は塩分が多いため、日常的な飲み物としては必ずしも適していません。ただし、大量の汗をかいた時や脱水症状が疑われる場合には有効なことがあります。

また、コーヒーや緑茶などカフェインを多く含む飲み物は利尿作用があるため、飲み過ぎには注意しましょう。利尿薬を服用されている方は、夏場に水分摂取量が少なくなると脱水を起こしやすくなります。また、降圧薬を服用されている方も、脱水によって血圧が下がり過ぎることがあります。体調が悪い場合は、自己判断で薬を中止せず、かかりつけ医へご相談ください。

【高齢者の脱水症のサイン】

次のような症状がみられたら、脱水症や熱中症の初期症状の可能性あります。必ずしも脱水とは限りませんが、早めに気づき、水分補給や休息を心掛けましょう。

- ・何となく元気がない
- ・食欲がない
- ・ぼんやりしている、反応が鈍い
- ・ふらつきや立ちくらみがある
- ・尿の回数が少ない、尿の色が濃い
- ・足がむくんでいる人のむくみが急に少なくなった
- ・最近体重が減った（1週間で1kg以上）

暑さを我慢し過ぎず、こまめな水分補給と室温管理を心掛け、元気に夏を乗り切りましょう。

病院理念

必要不可欠

「地域と生きる」「地域を活かす」地域において必要不可欠な存在であること。
「あると便利」ではなく「ないと困る」組織作りを目指します。

基本方針

全人的医療の提供

説明と同意のもとに、個々の皆様の病状や人生観に合わせた尊厳ある医療を目指します。

医療の選択性の確保と総合支援

当院以外の医療機関や施設および公的機関と連携を結び、皆様ご希望される医療機関等へのご紹介や、介護福祉関連サービスが継続して受けられるよう支援いたします。

地域ネットワーク

地域における医療・介護・福祉の連携活動、交通事故重度障害者の支援事業、福岡県の介護予防事業、久留米市の包括支援事業などに対して、積極的に参加し支援していきます。

自己研鑽

チーム医療を駆使した最新医療を提供するため日々自己研鑽に努めます。

久留米リハビリテーション病院からのお知らせ

新ユニフォームの紹介

当院のユニフォームは今年3月に新しくなりました！新しい衣服に身を包み職員一同さらに情熱を持って日々の業務に励んでいます。新しい姿にもご注目ください。

看護師



日勤カラー

夜勤カラー

さわやかなホワイトに凛としたネイビーのラインが入ったユニフォームを着ているのは日勤の看護師です。何でも遠慮無くお声掛けください。また夜勤は落ち着いたバーガンディのユニフォームが目印です。静かになる夜の病棟でも皆様の眠りを見守っています。24時間皆様の近くで安心をお届けします。

介護士



日勤カラー

夜勤カラー

凛としたネイビーのユニフォームを着ているのは日勤の介護士です。お食事や入浴、お手洗いのサポート、ちょっとした移動のお手伝いなど、皆様の毎日の生活を笑顔で支えます。身のまわりの“困った”があれば、お気軽にお声掛けください。また夜勤は優しいブルーのユニフォームが特徴です。皆様が朝まで心地よく休めるよう、夜勤も変わらず笑顔で支えます。

リハビリセラピスト



見る人の気持ちをほぐす、温かみのあるオリーブのユニフォームを着ているのはリハビリのスタッフです。身体のかなぎな動きを支える理学療法士、手先や普段の暮らしの工夫をサポートする作業療法士、話すことや食べることを支える言語聴覚士がそれぞれ専門知識を生かして皆様の力強くサポートします。

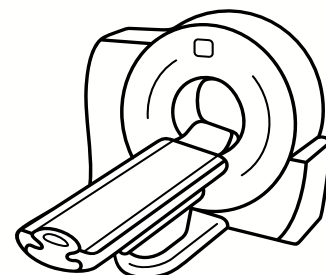
診療部門



心が、ほっと和むようなピンク色のユニフォームです。おくすりの疑問に答える薬剤師、丁寧な画像検査・治療を行う診療放射線技師、迅速な測定で病気を見つける臨床検査技師、健やかな身体をつくる食事を提案する管理栄養士がこのユニフォームを着ています。専門的なことから、日常のちょっとした疑問まで、どうぞお気軽にご相談ください。

MRI 装置の更新工事を行います

令和8年8月29日(土)～9月23日(水)の間MRI装置の更新工事を行うため、MRIを使用した検査が行えません。大変なご不便とご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地域医療連携室のご紹介

「つなぐ」をもっとスムーズに

医療の安心も、これからの暮らしも、どんなご相談もお任せください。

「地域医療連携室」は、地域の医療機関や介護施設、そして住民の皆様と当院をつなぐ窓口としての役割を担っています。現在は看護師 2 名、社会福祉士 4 名、作業療法士 1 名の計 7 名の専門スタッフが在籍しています。私たちの強みは、「看護・福祉・リハビリ」の専門家が揃っていることです。

■主な業務内容

＞ 地域の医療機関・施設との連携（入院転院のご相談）

近隣のクリニックや大病院、介護福祉施設との連携を密に取り合い、スムーズな転院の受け入れを行います。当院では多職種による迅速な受入判定を行っており、ご紹介から、受入可否のご返答、病床確保までをスピーディーに対応致します。

＞ 退院・生活支援（安心の退院サポート）

「退院後、自宅での生活に不安がある」「介護保険はどうやって使うの?」といった、退院を控えた患者さんやご家族さんの疑問・不安に寄り添い、安心していただける環境調整をお手伝いします。

＞ 医療・生活相談（患者家族の相談窓口）

医療費の心配事や、今後の療養先についてのご相談など、入院・通院に伴う様々な「困った」を一緒に解決します。

■職員の紹介

患者さんやご家族が安心して生活を送れるよう、医療・介護・福祉をつなぐ調整役として、切れ目のない支援を目指します。

看護師マネージャー
松尾 寿恵



患者様、ご家族の気持ちに寄り添い、退院後も安心して生活を送れるように、全力でサポートしたいと思っています。心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。

看護師
栗屋 真理子



福祉制度の活用だけでなく、心配や不安な事を一緒に整理し、その人に合った支援であるように、または「相談して良かった」と感じていただけるように心がけています。

社会福祉士
鳥越 なお子



生活に不安がある方でも、住み慣れた場所へ笑顔で帰れるように皆様の「これから」を皆様と一緒に考えていきたいと思っています!!

社会福祉士
山口 正宗



入院中での悩み、退院後の生活についての不安、ご本人だけでなく、ご家族の不安を聞き、お力添えしていきたいと思っています。

社会福祉士
緑川 翔之



安心して相談できる存在を目指し、一人ひとりの患者様やご家族に丁寧に向き合っていきたいと思っています。

社会福祉士
牛島 有里奈



生活で困っていることやリハビリに関して分からないことなど、なんでもご相談ください。

作業療法士
高山 絵理



お問い合わせ ご相談窓口 久留米リハビリテーション病院 地域医療連携室

直通電話：0942-43-8131（令和 8 年 7 月 21 日 開設）

受付時間：8:30~17:00（日・祝除く）

直通が
できました!!

介護保険で利用できるリハビリ

当院で対応できる具体的な内容をご紹介します

訪問リハビリテーション

特 色

安心した生活が送れるように、自宅に直接訪問して、身のまわり動作や家事、畑仕事など、利用者様の生活に沿ったリハビリを行います。また自宅での運動指導も行っています。他にも、自宅以外での活動支援や練習もできます。

利用までの流れ

担当ケアマネジャーへ利用希望の旨を伝えて下さい。ケアマネジャーから事業所に連絡があり状況確認をします。利用方向となったら、当院の外来医師の診察を受け、ケアマネジャーがリハビリを組み込んだ計画書を作り利用開始となります。

通所リハビリテーション（デイケア）

特 色

ご自宅から定期的に通っていただき、リハビリを受けます。リハビリスタッフが、お一人おひとりの状態に合わせて、筋力訓練や日常生活動作訓練などを行います。デイサービスでも訓練は行なわれますが、より専門的なリハビリを受けることができます。自宅で入浴困難な方は、入浴サービスもご利用になれます。

利用までの流れ

担当ケアマネジャーへ利用希望の旨を伝えて下さい。1日体験利用もできます。利用方向となったら、当院の外来医師の診察を受け、ケアマネジャー含めサービス担当者会議を開催し、利用開始となります。



ヒュッゲ やまもと —Hygge Yamamoto—

Symbi (就労継続支援 B 型)

久留米リハビリテーション病院が展開する
就労継続支援 B 型 Symbi (シンビー)
新しい社会参加・就労をめざして

利用対象となる障害は、障害者総合支援法で定める以下の障害と難病です。

身体障害者・知的障害者・精神障害者（発達障害者を含む）一部の難病

※2024（令和6）年4月時点で、369 疾病が対象。

利用には、自治体が発行する「障害福祉サービス受給者証」の取得が必須となります。

1. リハビリ専門職を配置

理学療法士、作業療法士、社会福祉士などリハビリ、福祉専門職を配置。

リハビリテーションの視点から支援を行っていきます。

2. リハビリテーション病院との連携

リハビリテーション病院と連携を行い、福祉だけでなく、医療、介護的側面からも

総合的に支援を行っていきます。

3. 個々に応じた仕事のマッチング

地域のニーズに答える仕事内容だけでなく、病院関連業務を委託しており、

個々の能力に合わせた仕事の選択も可能。

4. 自律支援型の支援

一般就労や在宅就労を目指す方のステップアップを支援します。

お世話型の支援ではなく、自律した社会生活が送れるよう支援を行います。

お問い合わせ先

かぶと山エム・エス有限会社 就労継続支援 B 型 Symbi (シンビー)

住所：福岡県久留米市山本町豊田 1939 番地 1

電話番号：0942-48-0111 e-mail：symbi@ktarn.jp



当施設は「共生と多様性の追求」をビジョンにかかげ高齢者や未就労者の社会参加、障がい者の生活・就労などの自律支援、世代を超えた自助互助のまちづくりに取り組んでいます。

リハビリテーションシェアハウス グレイヘロン

障害者が自律した生活を送るための住居です

必要な介護・福祉サービスは個々の契約となりますが、自律した生活を住み慣れた地域で送れるように、様々な職種や機関が連携し、支援を行います。

また、シェアハウスは入居者同士の協力が大切です。

お互い支えあいながら「地域で支えあう心」を育みましょう。

お問い合わせ先

リハビリテーションシェアハウス グレイヘロン

住所：久留米市山本町豊田 1693-3

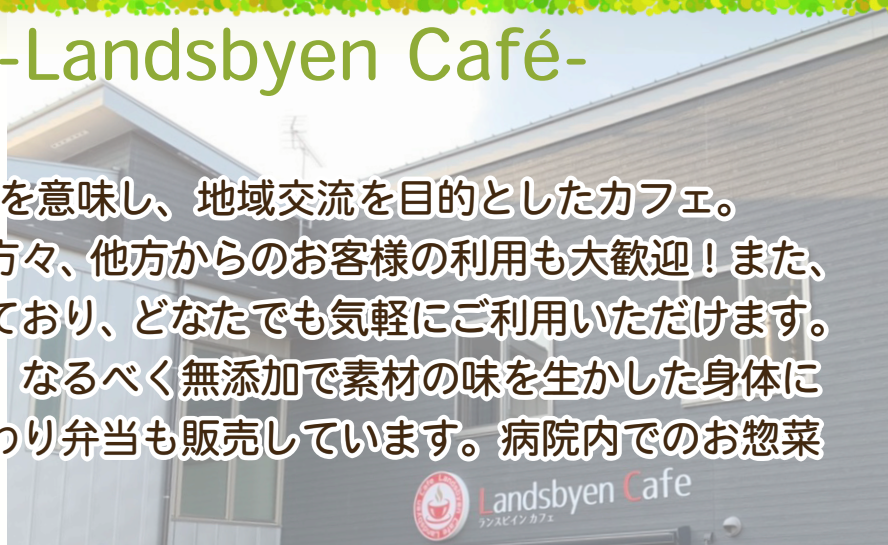
電話：0942-43-8131（久留米リハビリテーション病院 地域医療連携室）

ランスビィン カフェ -Landsbyen Café-

グレイヘロンに併設してあるカフェ

Landsbyen とはデンマーク語で村人を意味し、地域交流を目的としたカフェ。

関係者やその家族だけでなく地域の方々、他方からのお客様の利用也大歓迎！また、店内は全て完全バリアフリーとなっており、どなたでも気軽にご利用いただけます。メニューは旬の国産食材にこだわり、なるべく無添加で素材の味を生かした身体に優しいお料理を提供していて、日替わり弁当も販売しています。病院内でのお惣菜の販売も実施しています。



営業日：火曜日～金曜日
(祝日は休み)

営業時間：11:30～15:30

ランチ ラストオーダー 14:00

喫茶 ラストオーダー 14:30

住所：久留米市山本町豊田 1693-3

電話：0942-64-9823

外来診療のご案内

	診療科	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	一般外来	一般内科 ※予約不要	一般内科	一般内科	一般内科	一般内科	一般内科	休診
	専門外来	整形外科 ※予約不要	泌尿器科	整形外科 ※予約不要		整形外科 ※予約不要	整形外科 ※予約不要	
			糖尿病 内分泌科		消化器内科	膠原病 ※第3週		
		外来リハビリテーション ※消炎鎮痛は午前のみ						
午後	一般外来	休診(急患に関しては受け付けております)						休診
	専門外来		皮膚科 14:00~					
		外来リハビリテーション ※消炎鎮痛は午前のみ						
健康診断・予防接種		予約制となっております、外来受付にお問い合わせ下さい。						

※予約の方を優先いたします。急患及び紹介の場合は、午後でも診察を行っています。
※ご不明な場合はいつでもお問い合わせ下さい。

家でもできる 簡単ストレッチ

片足立ち

左右 1 分ずつ
1 日 2 回

転倒予防とバランス能力の向上
片足立ちは、姿勢を保つための平衡感覚を養います。
ふらついた際に体を立て直す能力が高まるため、日常生活でのつまずきや転倒を防ぐ効果があります。



スクワット

5 ～ 6 回繰り返す
1 日 2 回

動作の改善と転倒予防
立ち上がる、座る、階段を昇り降りするといった動作が楽になりバランス能力が向上することで転倒リスクを減らします。



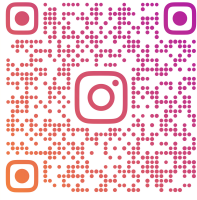
医療法人かぶとやま会
久留米リハビリテーション病院
〒839-0827
久留米市山本町豊田 1887
TEL：0942-43-8033
FAX：0942-45-0388
HP：https://www.kurume-reha.or.jp
e-mail：k-reha@ktarn.jp



ホームページ



Face book



KURUME_REHA